

サステナブルストックプラン

防災食品のフードロス対策

～廃棄される非常食を有効活用～



関西大学高等部

代表 塩田 みのり

西森 志帆 増井 優 高水 彩有

野口 清葉 石川 碧悠 藤丸 果音

辰巳 心優 田中 真奈 安武 美束

活動目的

- ・ 高校生としてできることを考え、考動力を発揮し、フードロス削減に貢献する
- ・ 非常食の現状を伝え、防災食への関心を持ってもらうことで、ローリングストックを推進する
- ・ SDGs12「つくる責任つかう責任」の目標達成に貢献する

活動の背景

- ・ 年間約20万食もの非常食が廃棄されている
- ・ 非常食を保存している間に食べるのを忘れてしまう人や味に不安がある人が多い



日常的に美味しく消費する必要がある

あなたは過去に、非常食を食べずに捨ててしまったことがありますか？

捨てた
ことはない
45.3%



捨ててしまった
ことがある
54.7%

非常食を食べずに捨ててしまった理由は？

- 1位 賞味期限/消費期限が過ぎてしまったから (157票)
- 2位 商品が美味しくなさそうだったから (22票)
- 3位 賞味期限/消費期限がわからなかったため (11票)

図1 合同会社Go-riverによる調査 (2023年8月実施 18歳以上の男女300人に実施)
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000113950.html> より引用

取組内容

2023年9月 たまゆらフェスタ



- 非常食の試食を実施 (図2)
- お弁当の好きなおかずのアンケート調査
- メインステージでの発表 (図3)

2024年3月 非常食リメイクメニュー試作



- アルファ化米を使用したメニューの考案と試作 (図4,図5)
- 先生方の試食

2024年9月 文化祭



- 衣に賞味期限が近づいたアルファ化米を使用したリメイク唐揚げを文化祭で販売 (図6,図7)
- 学校外との連携

2024年10月 フードバンクへの寄付

大阪万博での非常食リメイク弁当の販売を目指す



日本非常食推進機構

賞味期限が近い非常食



関西大学高等部

文化祭で販売

非常食
リメイクメニュー

たきび家

リメイク唐揚げ作成

新しい
非常食を
寄付

高槻市社会福祉協議会
高槻のフードバンク

結果

①文化祭リメイク唐揚げアンケートより

- ・ 「今まで食べた唐揚げの中で一番美味しかった」など評価が高く、4段階で3以上の評価をした人が96%以上 (4が最高評価)
- ・ 「衣がサクサクして美味しかった」等の衣に対する評価も高かった



- ・ 多くの人に提供することで、様々な意見を取り入れることができた。
- ・ 唐揚げの衣にアルファ化米を使用するリメイクは十分効果があると考えられる。

②売上とフードバンクへの寄付

- 文化祭での利益 29100円
- 新しい非常食を購入 (図8)
- 高槻市のフードバンクへ寄付 (図9)



図8 利益で購入した非常食



図9 非常食寄付時の写真

参考文献

- ・ 株式会社グリーンデザイン&コンサルティング. "「入れ替え時に大量廃棄される防災備蓄品をリサイクル」SDGs貢献し循環型社会実現に寄与できるリサイクルシステムとは?". <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000003.000106141.html>. (2024-05-27参照)
- ・ パナソニック ビジネスサービス株式会社. "賞味期限間近の防災備蓄品はどうすればいい？廃棄を防ぐ方法から今後の改善対策まで紹介". <https://www.pasona-pbs.co.jp/column/bcp/14148.html>. (2024-05-30参照)
- ・ 内閣府. "できることから始めよう！防災対策 第3回-内閣府防災情報のページ". <https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h25/73/bousaitaisaku.html>. (2024-06-03参照)
- ・ 独立行政法人国民生活センター. "災害に備えた食品の備蓄に関する実態調査". https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20210304_1.pdf. 最終更新:2021-03-04. (2024-07-17参照)